

- 移住・交流の推進**
- 新七尾市移住・交流推進協議会(仮称)の設立 200万円
- 新移住ポータルサイトの構築 400万円
- 新空き家活用事業 150万円
- 新七尾暮らし支援事業 280万円
- 拡定住促進住宅取得奨励金 4,800万円
- 新若者定住賃貸住宅家賃アシスト事業 120万円
- 北陸新幹線開業対策の推進**
- 【観光案内所の設置】
- 新七尾駅・和倉温泉駅観光案内所の設置 840万2千円

2015年春 北陸新幹線金沢開業



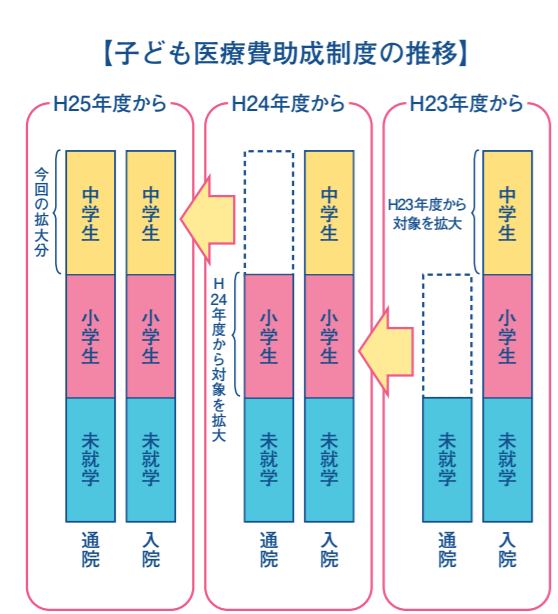
金沢ー東京 約2時間30分

- 【七尾の魅力発信】
- 新旧中央図書館周辺整備構想の策定 600万円
- 新旅行エージェンツの招へい 160万円

- 【二次・三次交通の確保】
- 新案内看板の設置 150万円
- 新まりん号運行体制の充実 620万円
- 【マイス(MICE)などによる交流人口の拡大】
- 総合宿等の誘致 1,829万6千円
- 継能登和倉万葉の里マラソン 500万円
- 新世界農業遺産国際会議 700万円
- 新全国農業担い手サミットいしかわ 31万円
- 新寺町サミットIN七尾 350万円
- 新全国名水サミット 100万円
- 新日本ジュニアヨットクラブ競技大会 90万円



- 継能登の里山里海魅力発信 462万円
- 継能登演劇堂「ロミオとジュリエット」 1,990万円
- 継緊急防災情報告知システムの整備 2億8,997万9千円
- 継防災ラジオの配備 1億6,256万円
- 継防災倉庫整備(3基) 840万円
- 継避難経路整備事業 87万円
- 継消防無線のデジタル化整備 3億883万8千円
- 新中島分遣所の改築 1億710万円
- 継緊急防災情報告知システム
- 継防災ラジオの配備
- 継防災倉庫整備(3基)
- 継避難経路整備事業
- 継消防無線のデジタル化整備
- 新中島分遣所の改築



- 継緊急防災情報告知システム
- 継防災ラジオの配備
- 継防災倉庫整備(3基)
- 継避難経路整備事業
- 継消防無線のデジタル化整備
- 新中島分遣所の改築
- 継緊急防災情報告知システム
- 継防災ラジオの配備
- 継防災倉庫整備(3基)
- 継避難経路整備事業
- 継消防無線のデジタル化整備
- 新中島分遣所の改築
- 継緊急防災情報告知システム
- 継防災ラジオの配備
- 継防災倉庫整備(3基)
- 継避難経路整備事業
- 継消防無線のデジタル化整備
- 新中島分遣所の改築

当初予算重点分野の概要

〔平成24年度補正予算による緊急経済対策を含む〕

平成25年度

訪れたいくなるまちづくり

住みよい七尾市をめざして

安全・安心 市民の暮らし

福祉サービスの充実

平成25年度 当初予算を可決

第1回定例会は2月28日から3月22日までの会期で行われた。市長から提案された平成25年度一般会計予算などの議案76件、請願1件が各常任委員会に付託され、審議された。最終日には各常任委員長から委員会における審査の経過と結果が報告され採決を行った結果、議案が全て可決され、請願は継続審査となった。意見書等に関する議会議案10件が提出され、全てが可決された。追加議案1件、同意案3件の提案理由説明が行われ、採決した結果、同意された。また、石川邦彦議長の辞職が許可され、直ちに議長選挙を行った結果、杉本忠一議員が当選し、市議会定例会を閉会した。

一般会計予算

320億7,000万円

(対前年比 15億5,000万円 5.1%増)

予算総額 644億2,911万8千円

(一般会計・特別会計・公営企業会計をあわせたもの)

平成25年度当初各会計別歳入歳出予算総括表

(単位:千円)

区分	予算額
一般会計	32,070,000
公営企業以外の特別会計	
ケーブルテレビ事業特別会計	510,219
国民健康保険特別会計	7,377,801
後期高齢者医療保険特別会計	688,571
介護保険特別会計	6,450,595
簡易水道事業特別会計	247,100
下水道事業特別会計	3,528,066
公設地方卸売市場事業特別会計	128,841
西岸財産区特別会計	118
小計	18,931,311
公営企業会計	
水道事業会計	2,561,619
病院事業会計	10,866,188
小計	13,427,807
合計	64,429,118

25年度当初予算 歳入の概要

市税は、固定資産税や市民税などを含め、前年度比0.6%減の79億3,722万円を見込んでいます。地方交付税は、一部事務組合の組織の見直しなどにより、1.5%増の109億3,500万円を見込んでいます。

25年度当初予算 歳出の概要

市民の安全・安心の確保に向けて、防災ラジオの配備や消防無線のデジタル化を図るため消防費で39.8%、また、北陸新幹線開業PR推進ファンドへ2億円の貸付を行うことから商工費で31.7%と大幅な伸びになりました。